

# 共生

本丸中学校  
生徒指導部だより  
平成28年12月9日  
第7号

## 11月の学校の様子

10月と11月は「いじめ見逃しゼロスクール強調月間」でした。合唱コンクールの異学年交流や、地域や保護者の皆様と連携した「愛の一声運動」など、いろいろな活動を行いました。活動を通して生徒は大きく成長しています。そのいくつかを紹介します。

### ネットトラブル防止講演会

11月1日に携帯電話会社の方による講演会を行いました。今年は生徒に事前アンケートを実施し、その内容を踏まえてお話をいただきました。また、保護者の方にも参加いただき、一緒にお話を聞くことができました。講演会やその後にお聞きしたもので、気になった事例をお知らせします。



- ①LINE や非公開のツイッターなど、自分の周りの人にしか見られないようにしていても、スクリーンショットなどで画像化して人に見せることはできる。そういうトラブルも多い。一旦ネットに載せた言葉や画像は絶対に消えない（「デジタルタトゥー」と表現されていました）。今は問題がなくても将来どう使われるかわからない。
- ②ネットの相談で一番多いのは裸の画像を送ってしまったというもの。以前は女子高校生からの相談が多かったが、今は女子中学生からの相談が多い。同年代の女の子になりすまし、「自分の画像も送るから」と、どこかから手に入れた画像を送りつけそのお返しに送らせるといったものや、付き合っている男の子から「愛情の証だ」などと言われ送ってしまうというケースが多い。高校生はうかがわしいと判断できるようになってきていて、判断力がまだ弱い中学生をターゲットにしている。
- ③相談で2番目に多いのはツイッターで知り合った人と仲が悪くなり、ツイッターに個人情報載せていたために脅されているというもの。ツイッターに名前や学校、部活名などを載せている生徒がいるが、いざとなるとそれを利用され、すぐに個人が特定される。そうなる、個人情報を公開するぞとか、学校に行くぞとか、ひどいものでは家に放火するぞと脅されたケースもあった。

講演会の中で講師の先生が強調していたのは、「公開されて困るような言葉や画像は絶対にネットに載せない」、「ネットに載せたらどうなるか考える想像力をもとう」ということでした。また、保護者向けには、まだ判断力の弱い中学生にネットを利用させるのであれば、ゲーム機や音楽プレーヤーも含めてフィルタリングが不可欠であるし、利用の仕方について話し合い、どういう利用をしているのかを時々チェックする必要があるとおっしゃっていました。

インターネットは大変便利なものであり、今の生活には欠かせないものになっています。しかし、使い方を誤るとネットいじめにつながるなど、非常に危険なものになってしまいます。生徒の98%がインターネットを利用しています。その使い方について、ぜひご家庭で話し合ってください。

### 愛の一声活動

10月の下旬から11月の中旬にかけて、明るい子供を育てる会とPTA生活指導委員会で「愛の一声活動」を行いました。暗くなるのが早まり、道路の見通しが悪くなることから、下校する生徒に交通安全を呼びかけました。今年は例年以上に生徒のあいさつが良く、活動を行った保護者の方からもお褒めの言葉を頂きました。これからも交通事故に遭わないように気を付けてほしいと思います。



## 小中合同あいさつ運動

11月中旬にボランティアの生徒を募集して、外ヶ輪小学校、二葉小学校、東豊小学校に1日ずつ出向き、あいさつ運動を行いました。朝早くの活動でしたが、延べ60名の生徒が参加しました。

参加した生徒は各小学校で大きな声を出してあいさつをしました。中学校ではあまりしないのですが、小学校でやっているハイタッチにも挑戦し、楽しく活動できました。小学生は、中学生の大きな声に驚きながらも元気よくあいさつを返してくれました。中学生は、小学生の明るく元気のいいあいさつやハイタッチで出す手のかわいさに感激していました。

活動後には、各小学校と声のメッセージ交換をしました。頂いたメッセージは、各小学校での活動の様子をスライドにまとめたものにして、いじめ見逃しゼロスクール集会のときに全校生徒に紹介しました。参加した生徒の感想発表も合わせて行い、全校生徒で活動を共有できました。この活動を通して、自分たち一人一人が地域の一員であることを自覚し、小学生の先輩として良い手本にならないといけないという思いを強くしたようです。



【外ヶ輪小学校】



【二葉小学校】



【東豊小学校】

## いじめ見逃しゼロスクール集会

11月は生徒会の各委員会でもいじめ見逃しゼロ運動を展開しました。応援委員会や生活委員会のあいさつ運動、給食委員会のストレスをためない食生活のポスター作り、環境委員会の心を癒やす花言葉のポスター作りなど、各委員会が工夫を凝らして活動しました。



それらの活動のまとめとして、12月1日にいじめ対策委員会が中心となって、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。最初にいじめアンケートの結果を発表し、これからの取組内容を確認しました。その後、生徒による手作りのドラマの上映を行いました。そして、教室で一人一人が「いじめをなくすためのメッセージ」を書き、掲示しました。

この日は全クラスが人権についての公開授業を行い、また、担当者から全校生徒に向けた命についての話もあり、生徒は自分や周りの人の命や権利を守るということについてたくさん学ぶことができました。

11月に次のようなことが起こりましたので、お知らせします。

12月5日現在

- ・いじめを含む生徒間のトラブル 9件（指導・解決済み 7件、指導継続中 2件）
- ・頭髪や服装等の乱れ 3件（指導継続中） ・交通事故 2件
- ・ゲームセンターへ生徒だけの立ち入り 1件（指導済み）
- ・公共施設でのマナー違反 1件（指導済み）

本丸中の生徒に関してお気づきのことがありましたら、良いことでも悪いことでも遠慮なくご連絡ください。地域や保護者の皆様とともに生徒の成長を支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本丸中学校（担当：波多野）TEL 22-2525